

再評価結果(平成21年度事業継続箇所)

担当課 : 国道・防災課
担当課長名 : 深澤 淳志

事業名	一般国道58号 嘉手納バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	沖縄総合事務局
起終点	白: 沖縄県読谷村古堅 至: 沖縄県嘉手納町兼久	延長	3.2km		

事業概要
 一般国道58号は、沖縄本島西海岸を南北に走る交通の大動脈であり、沖縄本島中南部の人口集中地域や県都那覇市と、沖縄本島北部の観光・リゾート地域及び農山村地域を結ぶ主要幹線道路である。嘉手納バイパス周辺地域は、本島北部と南部を結ぶ通過交通と域内交通が集中し、特に春から夏には観光及びレジャーによる交通も加わることで嘉手納ロータリー付近では著しい交通混雑が発生し、主要幹線道路としての機能が低下している状況である。嘉手納バイパスは沖縄西海岸道路の一部として、これらの問題の解決を図り、北部地域と中南部地域の交流を促進し、また、観光・リゾート及び地域振興に資するために、昭和62年度から事業化されている。

S62年度事業化	都市計画決定 不要	H6年度用地着手	H14年度工事着手
----------	--------------	----------	-----------

全体事業費	約286億円	事業進捗率	9.4%	供用済延長	0km
-------	--------	-------	------	-------	-----

計画交通量	38,300台/日				
-------	-----------	--	--	--	--

費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年
	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	
	6.9	213/249億円	1,705/1,705億円	平成20年度
	8.0	〔 事業費 : 203/238億円 維持管理費 : 11/ 11億円 〕	〔 走行時間短縮便益 : 1,521/1,521億円 走行経費減少便益 : 132/ 132億円 交通事故減少便益 : 53/ 53億円 〕	

- 事業の効果等**
- ① 円滑なモビリティの確保(並行する現道部の渋滞損失時間が削減する)
 - ② 物流効率化の支援(重要港湾那覇港へのアクセス向上が見込まれる)
 - ③ 個性ある地域の形成(主要な観光地へのアクセス向上が見込まれる)
- 他4項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
 嘉手納バイパスは、地域の活性化、交通混雑の緩和、地域振興、観光支援等に重要な役割を果たすことが期待されており、嘉手納町をはじめ、沖縄県中部市町村会及び沖縄県中部振興会等より整備促進の要請を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
 嘉手納バイパスの整備の遅れにより、嘉手納町内の町道大木水釜線への通過交通の増加に伴い、地区内の沿道環境が悪化している。

事業の進捗状況、残事業の内容等
 全体の事業進捗率は9.4%であるが、投資効果の高い事業であり、今後工事着手の準備を図る。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
 当該ルート先線について、米軍提供区域と調整に期間を費やしており、課題が解決出来次第、事業の進捗を図る。

施設の構造や工法の変更等
 橋梁部において、新工法を導入し上部工の形式の変更、下部工の形式の変更を行いコスト削減を図る。

対応方針 : 事業継続

対応方針決定の理由
 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

